



CONTENTS

- 03 役員メッセージ
- 04 **特集** 2024年度業務実績評価について
6年連続 A評価
- 08 **特集** 病院・施設紹介
イベント：埼玉メディカルセンター
イベント：横浜中央病院
医療設備：北海道病院
医療設備：徳山中央病院
研究事業：東京山手メディカルセンター
施設紹介：うつのみや病院
- 14 病院機能評価
JCHO PHARMACIST（薬剤師）
- 15 ONE JCHO（理事長訪問）

東京山手メディカルセンター
東京消防庁新宿消防署より感謝状を授与



東京消防庁新宿消防署より「指定二次救急医療機関として傷病者の受け入れ態勢を確立し、救急業務の充実・発展に多大な貢献をした」との評価を受け、9月9日（救急の日）に感謝状を授与されました。

今後も地域の皆さまの生命と健康を守るため、救急医療体制の一層の充実と質の向上に努めてまいります。



役員メッセージ

社会保障・経済政策担当理事

伊藤 由希子

（慶應義塾大学大学院商学研究科教授）



流れにさおさす？存在に

「ぜひ地域医療の再編の流れにさおさす存在になりたいと思います。」ある市の医療関係者を前にこう挨拶した途端、場が一瞬凍り付いた数年前の出来事を今でも思い出します。

「さお（掉）さす」の古くからの意味は「助ける」という意味ですが、文化庁の2012年の調査は、約6割が「邪魔する」という意味で捉えていると報告しています。

この度、医療経済担当理事という耳慣れない役職を拝命しておりますが、私の本職は医療経済の研究者です。

最初に地域病院の再編に関わる研究者兼実務部員という役割に就いて以来かれこれ15年になります。地域医療の再編に必要なものはともかくも「地の利・人の和」につきますがその根底には大きな邪魔とそれゆえの危機感があることが少なくありません。

つまり、両方の意味で「さおさす」存在がないと、低位安定、護送船団に慣れた地域医療のしがらみは、なかなか変わらないかもしれません。

その意味で、私は「助ける」ために「邪魔する」存在でもありたい、と思っています。次に皆さんの病院でお目にかかるときは、「流れにさおさす存在に」とあえて思い切って挨拶してみようと思っています。



6年連続 **A** 評価

2024年度 業務実績評価（独立行政法人評価）

厚生労働大臣から A 評価を受けました

独立行政法人評価って何ですか？

JCHOは独立行政法人なので、達成すべき目標（中期目標＝5年間の目標）を厚生労働大臣から定められています。

その目標を達成するために、中期計画（5年間の計画）と年度計画（1年間の計画）を策定していて、年度が終わるごとに業務実績について厚生労働大臣から評価を受けるのです！

へー、知らなかった！それで昨年度の業務実績についてはA評価を受けたんですね。A評価ってすごいんですか？

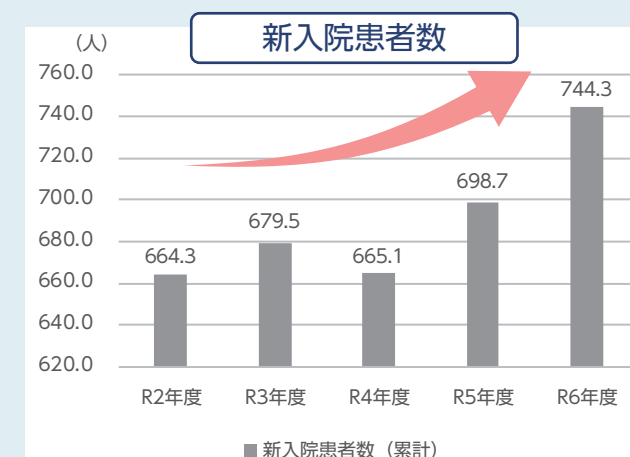
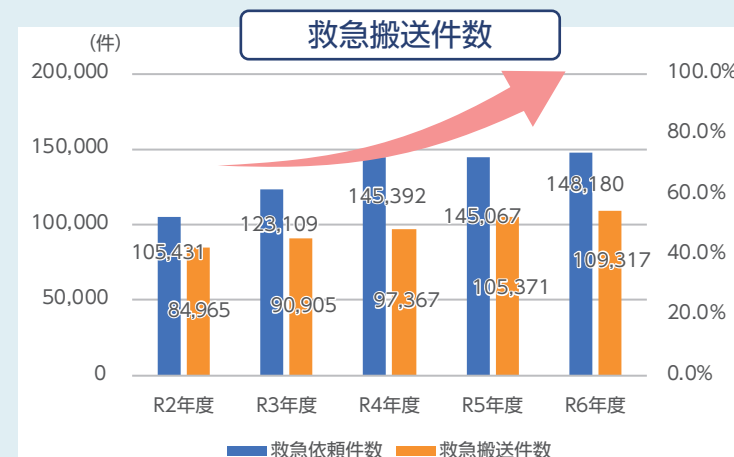
「中期計画における所期の目標を上回る成果が得られている」という評価です。職員の皆さんの日々の活動があったからこそ得られたA評価ですよ！



どんな目標があったんですか？

例えば、病院機能評価の認定病院数や、逆紹介率、救急搬送件数の目標があります。JCHOが地域から信頼され、必要とされ続けるために、医療の質の向上や地域の他の医療機関等との連携が求められているのです。

2024年度末時点で病院機能評価は57病院中22病院が認定済み、救急搬送件数は10万件以上で、目標達成となっています！



ほかには？

地域住民への教育・研修（公開講座など）や、地域の医療・介護従事者への教育・研修の実施回数の目標もあります。

地域全体の健康づくりや、地域の医療・介護の質の向上に貢献することが求められているのです。こちらも目標を達成し、厚生労働大臣からも高く評価されています！



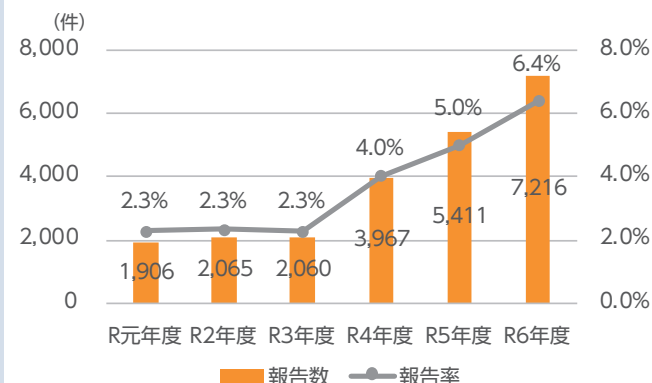
他には、インシデント・アクシデント報告の総数や、医師からの報告件数の割合を「各病院で前年度より1%増やす」という目標もありますよ。

なかなかハードルの高い目標ですね。達成できたのでしょうか？

医師からの報告件数の目標については、残念ながら達成には至りませんでした。医師の報告を増やすのは簡単ではありませんが、JCHO全体ではこの5年間で報告件数が3倍以上に増えていますよ！医療の質を高めるためには医療安全対策への医師の積極的な関与が欠かせません。そのため、この目標が設定されているのです。

例えば、24時間以内の再手術症例や手術時間の超過事例等は医師からの報告を促したり、報告書の入力項目を最小限にして負担を軽減したりと、工夫をしている病院もあるようです

医師からの報告件数及び報告率



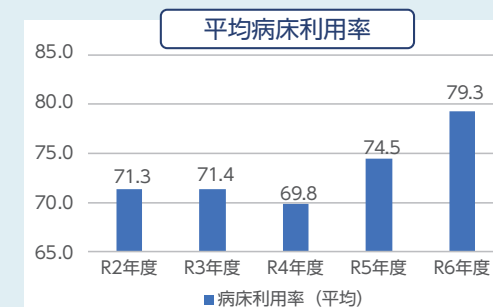
介護事業関係では、訪問看護ステーションの特別管理加算の算定件数が目標になっています。老健施設や訪問看護ステーションで医療ニーズが高い方を積極的に受け入れたことも高く評価されました。



経営面はどんな評価を受けたんですか？

経営面では、物価上昇等で費用が増加する状況下で、救急患者の受入強化等の増収の取組や、共同調達の実施等の費用抑制の取組の実施により、医業収支が増加しており、全体として健全な組織運営の努力が行われている、と評価されました。

平均在院日数が短縮し、病床利用率が上がっていることにも経営改善の努力が現れていますね！



山本理事長からのメッセージ

今回の結果は、全国57病院、約27,000人の職員全員の熱意と努力の賜物だと考えております。

有識者からは「大変厳しい中、各現場が努力していることがよくわかった。今後も推進してもらい、地域住民が安心できる地域医療を行っていただきたい。」との期待が寄せられました。

経営努力は認められましたが、経常収支は赤字が続いています。

自律的な運営のためには黒字を目指すことが不可欠です。

このような評価をいただいたことに自信を持って、さらなる経営改善を実現すべく頑張りましょう。

今後も職員一丸となって、さらに地域の皆様に信頼されるJCHOを目指していきましょう！



地域貢献
イベント

埼玉メディカルセンター

災害対策訓練を通じた地域医療貢献を目指して

防火防災対策委員会 広報委員会

救急科診療部長 和田 浩 薬剤部 浦田 晃子

C S C A T T T
C: Command & Control 指揮と連携
S: Safety 安全
C: Communication 情報伝達
A: Assessment 評価

※ CSCAの確立なくしてTTTなし

T: Triage トリアージ
T: Treatment 治療
T: Transport 搬送

地域貢献
イベント

横浜中央病院

ハローよこはま 2025 ! 地域イベントで健康を増進
血管年齢測定

副院長 大岩 功治



第1回さいたま市浦和区災害対策合同訓練 (2025.11.15)

トリアージの訓練

停電時に電源として使えるEV車

埼玉メディカルセンターの取組として防火防災訓練を発展昇華させ、埼玉MC・（一社）浦和医師会・さいたま市薬剤師会・埼玉トヨタ自動車（株）・さいたま市浦和区役所の地域5団体が一体となり、2025年度より合同訓練を開催しました。当日は大勢の参加者が組織を超えて連携し、地域のきずなを深めました。

訓練では、埼玉MC駐車場を利用し、さいたま市医療救護所の設置、電気自動車(EV)の設置、投光器・送風機の設置、トリアージポストの拡充(CSCA-TTT)を行い、模擬患者とトリアージタグを用いた本番さながらの訓練を通じて、地域住民のみなさまに病院の存在をより身近に感じてもらうと同時に、災害時に行政・企業・地域開発団体とも連動した行動がとれるように訓練をアップデートしていきます。



血管年齢

無料健康相談

横浜中央病院は、2025年11月9日に横浜市中区民祭り「ハローよこはま」に参加しました。1976年から続く伝統のあるお祭りで、毎年地元医師会とともに健康相談のお手伝いをしております。

横浜赤レンガ倉庫や大さん橋とも隣接した「象の鼻パーク」会場にて、多くの来場者に「血管年齢測定」を行いました。測定結果から生活習慣の問題点に気づき、食生活や運動習慣の改善を促すことで健康維持や病気の予防を促すことが出来ました。

当日は朝から小雨交じりのスタートでしたが、会場ブースには行列も出来るほど来場者の関心も高く、横浜市長の表敬訪問も受けました。ご厚情に深く感謝申し上げます。

北海道病院

産後ケア 始めました！

4 階病棟 副看護師長 天野 舞子



2025年12月、個室リニューアル！

北海道病院では、2025年4月から産後ケアを開始しました。産後ケアは、「赤ちゃんのお世話の仕方や生活リズムがわからない」など、出産後、育児等の支援が必要な方を対象に、助産師等が産後の体調管理や育児相談等の援助を行うものです。育児で疲労がたまっている方が多く、リラックスしてお過ごしいただき、「ゆっくりできました」などの感想をいただいています。

今後は、「宿泊型」についても検討しており、地域みなさんにお気軽に活用していける場を提供できるよう努めます。



徳山中央病院

救急車医師同乗システムに関する協定

救急科医師 清水 弘毅



左から、山本亜希広消防長、藤井律子市長、沼文隆病院長、清水弘毅救急科医師

2025年9月12日、周南市と徳山中央病院は「救急車医師同乗システム（ドクターカー）」に関する協定を締結しました。医師・看護師・救急隊員が一体となり、緊急度・重症度の高い現場へ迅速に駆けつけることで、救命率の向上や後遺症の軽減を期待しています。

市民の皆さまが安心して暮らせる地域づくりに少しでも貢献できるよう、これからも地域医療の充実に努めてまいります。

10月1日から試行運用、2026年4月から本格運用予定です。

東京山手メディカルセンター



Excellence in Nursing

—AIで記録を変える、看護が変わる—

ICU・看護師長 新井 真理子



東京山手メディカルセンターでは、看護の質向上と働き方改革を両立するため、AIを活用した看護記録支援システムを導入しました。音声入力や自動記録補助機能により、看護師の記録時間を大幅に短縮し、患者さんと向き合う時間を確保！AIは看護師の代わりではなく、“寄り添う力”を支える存在です。人の温かさとテクノロジーの力が調和することで、より質の高い看護が実現します。

「Excellence in Nursing」—この言葉には、日々の看護実践を磨き続け、より良い医療を患者さんに届けたいという私たちの願いが込められています。これからも、現場から未来へ、看護の新しい価値を創造していきたいと思ひます。

うつのみや病院



地域とともに歩むJCHOオレンジサロン

うつのみや病院附属介護老人保健施設

介護支援専門員 稲葉 陵一



認知症のシンボルカラーが
「オレンジ」なのは、
江戸時代の「柿右衛門」
の「柿色」に由来

うつのみや病院では、2024年に宇都宮市から認知症の地域活動拠点として認知症サロン（認知症カフェ）の運営委託を受託し活動をしています。認知症の講話から加齢などにより心身の活力が低下する状況（フレイル）に関してのお話をしています。

参加される方は、かかりつけの患者さんや近隣の住民の方が来てくれており、毎回20名程度の参加をいただいています。サロンの参加者様より、講話がとても参考になるなどのご意見をいただいています。

これからも気軽に相談できる場として、地域に密着した活動として続けていきます。

ONE JCHOで全病院の認定を!

病院機能評価



JCHOでは、安全で安心な医療の提供のため、2028年度末までに全57病院における病院機能評価等の認定を目標としています。2023年度末には21病院が認定されていましたが、2025年9月末には27病院が認定となりました。2025年度中にさらに17病院が受審を予定しています。

病院機能評価の審査を担当する「サーベヤー」も、JCHOには2024年5月の10名から、2025年10月の15名(診療9、看護5、事務1)に増え、受審される病院の相談対応や模擬審査などにご協力いただいています。

受審された病院の資料等も、職員向けポータルサイトやメールマガジンで共有しています。全病院の認定を目指して、ONE JCHOで取り組んでまいりましょう!

JCHO本部 医療部医療課
医療推進係長 **金子 亮広**



～JCHOポリバレントファーマシスト育成研修プログラム実践例～

保険薬局研修を介した在宅医療へのアプローチ

JCHO PHARMACIST



入所患者への服薬状況の確認

徳山中央病院

薬剤師 **田中 寛子** / 薬剤部長 **佐藤 真也**

徳山中央病院では、病棟業務を軸に在宅訪問などを含む保険薬局研修を並行して実施し、入院から退院までの一貫した流れと、退院後の自宅での薬物療法までを見据えた研修を構築しました。

研修成果を外部へアピールし、さらなる病院薬剤師の魅力を可視化することは、病院薬剤師の確保と定着に繋がると思います。

新卒薬剤師が本研修プログラムを実践していくことで、病院薬剤師の職能発揮に繋げ、同時に指導薬剤師の充実を図っていきます。



薬管理 BOX の確認

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く

理事長・病院訪問記

ONE JCHO

お仕事：診療案内
新人看護師の初心者マーク
出身：新宿区神田川



ヤマメちゃん

東京山手メディカルセンターに
国会議員が来訪、
厳しい経営状況を説明しました。



さくりん

お仕事：ゆるっと広報担当
大好物：マグロ桜エビ丼
座右の銘：明日やろうは、
バカヤロー
桜のカチューシャが自慢

清水さくら病院



ふなっちゃん

お仕事：病院紹介
インターンシップ
広告活動
出身：千葉県船橋市

船橋中央病院



長崎大学に表敬訪問
地域医療の連携を深めました。
山本理事長、長崎大学 永安 学長、諫早総合病院 長郷 病院長

HAPPY NEW YEAR
2026

睡眠と筋肉は裏切らない

山本修一



独立行政法人
地域医療機能推進機構
JCHO Japan Community Healthcare Organization



本部

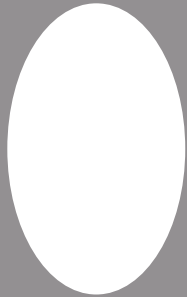
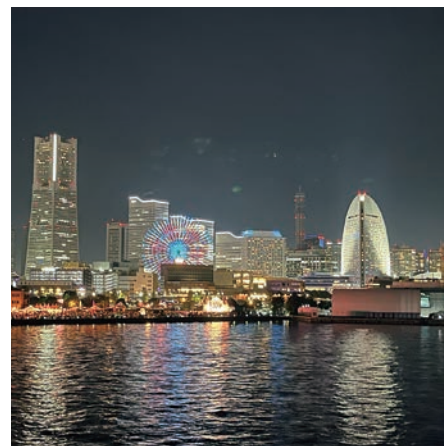
〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220
<https://www.jcho.go.jp>



NOW!



JCHOは、これからも地域と共に、皆さまと一緒に歩み続けます！



CONTENTS

- 03 新棟完成：中京病院
- 04 **トピックス**
第10回JCHO地域医療総合医学会
- 06  JCHO・かえるチャレンジ！
千葉病院
東京山手メディカルセンター
星ヶ丘医療センター
星ヶ丘医療センター
佐賀中部病院
熊本総合病院
- 12 **特集** 病院・施設紹介
地域関係セミナー：船橋中央病院
地域交流・イベント：山梨病院
- 14 女性医師キャリア紹介
JCHO 認定キャリアアドバイザー
- 15 地域包括ケア
JCHOで育成する総合診療医

理事長・病院訪問記



宮崎江南病院 創立70周年記念式典
JCHO移行11年 記念講演会



人吉医療センター
薬師寺 病院長

人吉市役所
松岡 市長

JCHO
山本 理事長

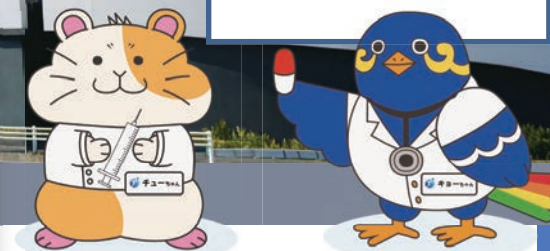
人吉市役所に表敬訪問

新病棟完成！中京病院 2026年1月運用開始



新棟東館の整備方針

- ① 機能集約による運営の効率化と連携強化
- ② 大災害時に機能を維持できるBCP病院
- ③ がん診療機能・地域支援機能の充実
- ④ 患者に快適でスタッフが働きやすい環境
- ⑤ 感染症への対応



事務部長 岡本 勝男

新棟東館が2025年10月に完成し、2026年1月から運用を開始いたしました。

新棟東館の病床数は400床、救命救急センター・手術室・ICUなど高度急性期・急性期機能を集約するとともに、免震構造・水害対策など大規模災害時でも機能を維持できる建物になっています。

新棟東館の機能を十分に発揮し、地域の皆様に安心・安全で高度な医療を提供し、地域の基幹病院として地域の医療を支え続けられるよう職員一丸となって取り組んでいきます。

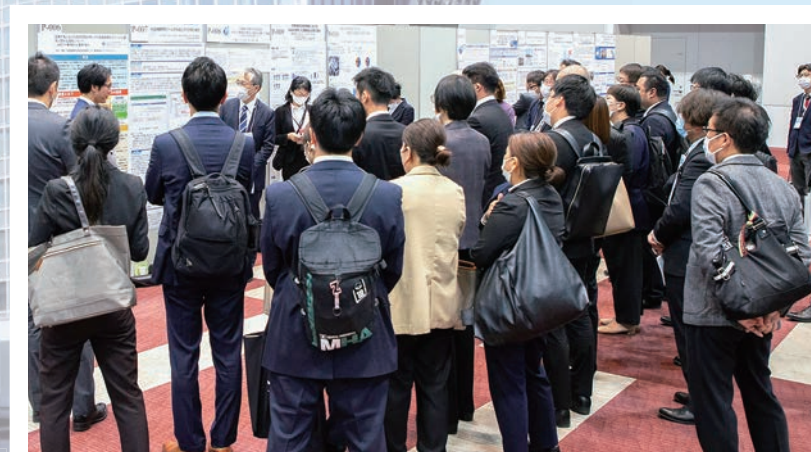


第10回JCHO地域医療総合医学会

The 10th Annual Meeting of Japan Community Healthcare Society in YOKOHAMA

第10回 JCHO 地域医療総合医学会 会長
東京新宿メディカルセンター 病院長 関根 信夫

『次世代地域医療の創造～我が、明日から～』をメインテーマに、2025年11月28日・29日、第10回の記念大会となる本会をパシフィコ横浜ノースにおいて開催しました。少子・超高齢化の進む我が国にあって、私たち医療者が様々な創意工夫やツールの活用を通して地域医療を担っていこう、との決意表明でもあるテーマに沿った企画構成です。全国JCHO施設から数々の‘創造的’な発表が寄せられ、参加者・演題とも歴代最多数を記録。井上康生氏の特別講演、伊藤亜紗教授の市民公開講座に加え、開会式でのヴァイオリン演奏や懇親会での全員参加の阿波踊りなど、スポーツも、アートも、そして祭りもある会となりました。



第11回 The 11th Annual Meeting of Japan Community Healthcare Society
JCHO地域医療総合医学会
あしたのしせい+

会期 2026. 10/9 (金)・10 (土)
会場 大阪国際会議場 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51

第11回は、大阪！！
多数の職員参加をお待ちしています！



千葉病院



職場チームによる業務改善事例

最優秀賞

ドック新時代へ向けて“かわる”のは今！

チーム名 JCHO千葉病院 健康管理センター

今回の取り組みは、健康管理センターの収益回復のため、巡回健診におけるお水配布や健診精密外来開設などを行い、成果を上げることができました。これらは、特別に他と一線を画するものではなく、業務改善の必要性を認識し、継続を意識した工夫を重ねることで、どの病院でも取り入れられる「小さなアイデアを形にする取り組み」を積み上げてきたものです。

今後も、病院経営における健康管理センターの役割にご理解を賜り、病院全体で新たな挑戦に向けた思いを共有していければと考えております。

成功に導いた4つの工夫

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 「常に」業務改善 | 2 みんなを巻き込む |
| ・同じことの継続では右肩下がり
・筋肉痛が起こる程度の負荷 | ・目標を広く・伝わる形で周知
・関係者へのこまめな情報共有 |
| 3 改善見える化 | 4 効果検証 |
| ・改善事項一覧作成
・目的で分類 | ・新規取り組み必ず効果検証
・結果を周知し意識改革へ |

病院長より

素晴らしい賞を光栄に存じます。健診は機構理念である地域健康増進活動であり、経営を支える重要部門であります。「本気で健診」のスローガンのもと、ドックを中心にさらに強力に体制の充実を図ってまいります。

※ポータルサイト広報掲示板内へ掲載



東京山手メディカルセンター



職場チームによる業務改善事例

優秀賞

タスク・シフトで紡ぐ手術室 ～臨床工学技士活用法～

チーム名 臨床工学技士活用タスクフォース

手術室看護師の人員不足という課題解決のため、看護師からレクチャーを受けながらマニュアル等の整備をし、私達は肛門疾患手術における臨床工学技士の「器械出し」や「周辺補助業務」への参入に取り組みました。

マニュアル作成や多職種連携での指導により、月約160時間の看護師業務削減、看護師の後進育成とコア業務に注力できる環境整備に貢献しています。これからも多職種が一丸となって手術室を支えていきます。



病院長より

外科医や看護職員の確保が難しい中、臨床工学技士が手術支援に進出した意義は大きく、今後の人員確保やコストを考える上で貴重な示唆を与える取り組みです。今後の発展に期待します。

※ポータルサイト広報掲示板内へ掲載

星ヶ丘医療センター

星ヶ丘医療センター



職場チームによる業務改善事例

職場チームによる業務改善事例

優秀賞

休日開院で地域と病院を元気にする

チーム名 地域のために開院しMonday！

「このままではいけない」という切実な危機感を原動力に、当院は前例のない「休日開院」に挑みました。部門や職種の壁を越えた協働を重ね、山積する課題を乗り越えた結果、経営改善のみならず、救急対応力の向上という形で確かな地域貢献を実現することができました。そして何よりも、この挑戦は職員の間に確かな連帯感と誇りを生みしました。今後も、地域医療に貢献し、職員がやりがいを感じられるよう、持続可能な医療の在り方を追求してまいります。

ハッピーマンデーを中心に、休日開院をやってみよう！

地域貢献と経営改善の両立を目指す



地域全体の安心

経営改善

病院長より

「休日開院で地域と病院を元気にする」病気には休日祭日もない、との気持ちを全職員で共有して休日開院を達成しました。地域に本当に必要とされる病院を目指してこれからも邁進していきます。

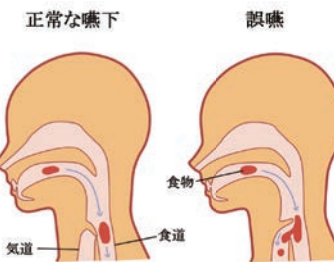
※ポータルサイト広報掲示板内へ掲載

優秀賞

摂食機能療法に係る職場チームの活動

チーム名 嚥下の星

星ヶ丘医療センターの嚥下チームは設立10年を迎えました。多職種協働を深化させた結果、摂食機能療法の算定件数が増加しただけでなく、臨床的な大きな成果を達成しました。誤嚥性肺炎発症率の低減、経口摂取移行率の向上を実現し、患者さんの回復支援を強力に推進し、さらに院内だけでなく、嚥下外来の設立により地域医療にも貢献しています。患者さんの「食べたい」思いに寄り添いながら、今後もチーム一丸となり、摂食嚥下障害医療の質向上に努めてまいります。



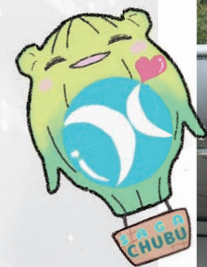
病院長より

電子カルテ上でテンプレートを作成して算定漏れを防いだけでなく、院内誤嚥性肺炎の減少、経口摂取移行率の増加をも達成しました。まさに「嚥下の星」、「病院の星」の仕事ではありませんか。

※ポータルサイト広報掲示板内へ掲載

佐賀中部病院

熊本総合病院



職場チームによる業務改善事例



職場チームによる業務改善事例

優秀賞

救急車受け入れ台数増加への取り組みについて

チーム名 佐賀中部の救急車を増やし隊

当院は、「佐賀中部の救急車増やし隊」を結成し、「三次救急を疲弊させない」をスローガンに救急車受け入れ件数の増加に向けた取り組みを開始しました。救急ホットラインの増設や応需体制の見直しなど、スタッフの救急医療に対する意識向上を図る施策を中心に、体制強化を進めてきました。その結果、救急車件数は約500件から1700件を超えるまでに増加しました。忙しい日々ではありますが、地域に信頼され貢献できる病院として前進し続けてまいります。

救急を受け入れる！という意識改革に大きな効果があった



病院長より 病院再建の3本柱(救急医療・病床管理・地域連携)の一つを、多職種連携と多彩なアイデアで見事に活性化させたことは本当に素晴らしいと思います。救急車応需2000台を目指して、更なる頑張りを期待します。

※ポータルサイト広報掲示板内へ掲載

優秀ポスター賞

「ジェイ太郎」に「ジェイ次郎」を融合した新しいITシステムによる多職種業務改善

チーム名 ジェイ兄弟イノベーションチーム

熊本総合病院では、医師・看護師・技師・事務職員など多職種の円滑な業務活動を支援するため、ITを活用した業務改善活動に取り組んでいます。病床管理補助システム「ジェイ太郎」と院内業務改善システム「ジェイ次郎」を融合させたジェイ兄弟が高度な医療の提供や院内業務の質向上につながる仕組みを確立しました。これらの取り組みにより、新たな改善テーマが自然と生まれる好循環が形成されています。

今後は、これらの基盤を活かし、業務改善の取り組みをさらに発展させるよう、AIシステム等を用いた次世代の業務支援・改善を図ってまいります。

病院長より 現場の声を起点に、「ジェイ太郎」に「ジェイ次郎」を融合させたジェイ兄弟基盤が、院内業務改善にもたらした多大な貢献を高く評価しています。ITを単なるツールにとどめるのではなく、課題が集まり、次の改善につながる仕組みとして定着しており、今後のさらなる発展を期待しています。

※ポータルサイト広報掲示板内へ掲載

ITによる業務改善のプロセス

- 発題** 現場の課題を**コアメンバー**が拾い上げる
・ITによって解決できることを考える
- 分析** 困っている業務内容、解決のために必要な情報を収集する
・**コアメンバー**＋現場スタッフの**解決チーム**を立ち上げる
- 提案** 解決チームで解決手段を検討し、提案する
・ツールやシステムを開発する場合は、仕様を現場と合意する
- 運用** 病床管理に関するシステム → **ジェイ太郎**に組み込み
・病床管理以外に関するシステム → **ジェイ次郎**に組み込み
・作成したシステムまたは改善策を現場に適用。使い方など説明。定着を図る。

地域連携
セミナー

船橋中央病院

地域のハブを目指して臨床遺伝科を立ち上げました

臨床遺伝科 院長補佐 市川 智彦



**地域医療連携セミナー
臨床遺伝科 @船橋中央病院**

日時 2026年 1月14日（水）18:00～

会場 船橋中央病院 3階 第2会議室から Zoom配信

対象 医師、歯科医師、看護師、遺伝カウンセラー、薬剤師、臨床検査技師、MSW、がんゲノムコーディネーターなど医療従事者

講演Ⅰ（15分）
講師：宇津野恵美 先生
『テーマ：遺伝カウンセリングについて』

講演Ⅱ（30分）
講師：市川智彦 先生
『テーマ：遺伝学的検査と保険適応』

2025年度 臨床遺伝科 地域医療連携セミナーは、全3回開催予定です。
①1月14日（水）②2月19日（木）③3月11日（水）
（各開催日とも18:00開催となります）
各回のテーマが決定いたしましたら、ご案内いたします。



「臨床遺伝科」を開設し2025年9月1日に院外向けサイトを公開しました。

船橋中央病院の臨床遺伝科はNIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）などの生殖・周産期その他、腫瘍、成人期、小児期の4領域全てに対応しています。専門経験豊かな3名のスタッフ（栗林ももこ医長、宇津野恵美認定遺伝カウンセラー、市川智彦）がチームを組んで遺伝カウンセリングを行い、遺伝学的検査を実施しています。

地域医療連携セミナーによる情報の提供も行っており、遺伝医療を通じた地域のハブを目指して積極的に活動していきます。ご期待ください!!



地域交流
イベント

山梨病院

一次救命処置体験@甲府えびす講祭り

健康管理センター 管理課 小柳 友快



甲府えびす講祭り

第91回

「えびす講祭り」は七福神の1つ「えびす神」をまつる行事で、1929年から続く伝統あるお祭りです

山梨病院は、地域交流・広報活動の一環として、毎年11月23日に甲府駅を中心に開催される「えびす講祭り」に参加しています。病院から程近い商店街も歩行者天国となり、今年は1次救命処置体験（AED・心臓マッサージ）、健康相談などを実施しました。

心臓マッサージの体験では、小さなお子様連れのご家族に多くお立ち寄りいただき、懸命に心臓マッサージをする子供たちを見て、応援したり写真を撮ったりと大変盛況しました。今後も地域の皆様のための病院として親しんでいただけるよう、活動して参ります。

私が医療安全部長だって! ほんとうに

女性医師キャリア紹介

相模野病院 副院長

医療安全管理部長 乳腺外科診療部長

林 京子



1989年卒、外科14人中1人女外科医として入局しました。子供は2人、気づくと乳腺外科医になっていました。追突事故4回の後遺症で手が動かないつらい時期がありましたが復帰し、2012年相模野病院に乳腺外科医として赴任しました。

2019年に医療安全部長を提案され「医療安全なんてとんでもない」と不承不承認しました。

医療事故は些細なことの積み重ねが大きな事故を生む、普通こんなことしないよね。ということが起こる驚きの連続でした。医療安全の根幹はコミュニケーションで挨拶をきちんとできる人は自然と周囲のスタッフに守られている。皆さんもそう思いませんか？

私もスタッフに守られている一人で周囲に感謝しながら日々診療しています。

JCAの取組

JCHO 認定キャリアアドバイザー

仙台病院 看護部 看護師長

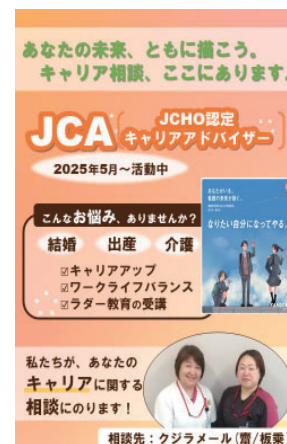
板乗 亜矢
育子



2024年度、JCHO認定キャリアアドバイザー研修を受講し、活動を開始しました。

2025度は、当院の離職と定着率の動向を見据え、キャリア分岐点への支援活動を行っています。対象職員を設定し、通常相談と併せて52名の面談を実施しました。

面談を通じて見えてきた課題をキャリア支援委員会と共有し、キャリア支援が個人と組織の共生のための橋渡しに繋がるように歩みたいと思います。院内JCA制度を整備しながら、相談者がライフキャリアプランの構築ができるように伴走していきたいと思っています。



2025度訪問看護ステーション管理者会議を開催しました!!

地域包括ケア

本部医療部サービス推進課

地域包括ケア推進係長

齋藤 陽子



2024年度、各事業所で地域分析や自事業所の強み・弱みを整理し、中長期的な経営目標を掲げました。2025年度は、その目標に対して取り組んできた内容を各グループ内で共有し、更なる経営改善に向けて意見交換を行いました。また、将来を見据え、精神科や小児の訪問看護の実践について、事例発表・グループや全体での意見交換を通し、「様々な患者の在宅を支えるための体制作り」を考える機会となりました。

「どんな患者でも受け入れる訪問看護を目指す!」という熱い思いを持ち帰り、これからもJCHOの訪問看護は、笑顔を絶やさず、地域の医療を支える要として邁進してまいります!!



札幌北辰病院総合診療科の取り組み

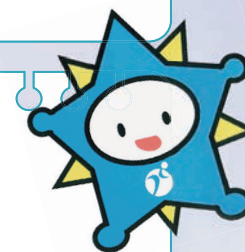
札幌北辰病院総合診療科

診療部長

若林 崇雄

私たちは札幌で病院総合診療に取り組んでいます。通常の入院・外来に加え、平日日中の救急対応、また訪問診療を実践しています。

また札幌大・北大より学生を受け入れ、実習と子ども食堂でのボランティア活動を行っています。独自の専攻医プログラムを有し、札幌からの引っ越しで完結するよう配慮しています。今年は総合診療科専門医を1名輩出! 皆さんも興味があればぜひ見学にいらっしゃってください。



石川県知事から、JCHO に感謝状

令和 6 年能登半島地震・令和 6 年奥能登豪雨

令和 6 年能登半島地震・令和 6 年奥能登豪雨において被災地の最前線で組織的に尽力したJCHOに対して、石川県知事から感謝状が贈呈されました。

2025年12月10日の贈呈式には、山本理事長の代理として、金沢病院 村本弘昭病院長が出席しました。

改めて、被災地医療支援活動に携わった多くのJCHO職員のみなさまに感謝申し上げます。

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 知事感謝状贈呈式



(馳 前石川県知事、金沢病院 村本病院長)

かえるチャレンジ 2025：参加病院一覧

- ・登別病院 ・秋田病院 ・二本松病院
- ・埼玉メディカルセンター・千葉病院
- ・東京山手メディカルセンター
- ・三島総合病院・四日市羽津医療センター
- ・滋賀病院 ・京都鞍馬口医療センター
- ・星ヶ丘医療センター ・大和郡山病院
- ・玉造病院・宇和島病院・徳山中央病院
- ・佐賀中部病院・松浦中央病院
- ・熊本総合病院 ・人吉医療センター
- ・天草中央総合病院 ・南海医療センター
- ・宮崎江南病院

(全 22 病院、27 チーム)

かえるチャレンジ2026

今年も **かえる** チャンス到来！



独立行政法人
地域医療機能推進機構
JCHO Japan Community Healthcare Organization



本 部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220
<https://www.jcho.go.jp>



JCHOは、これからも地域と共に、皆さまと一緒に歩み続けます！